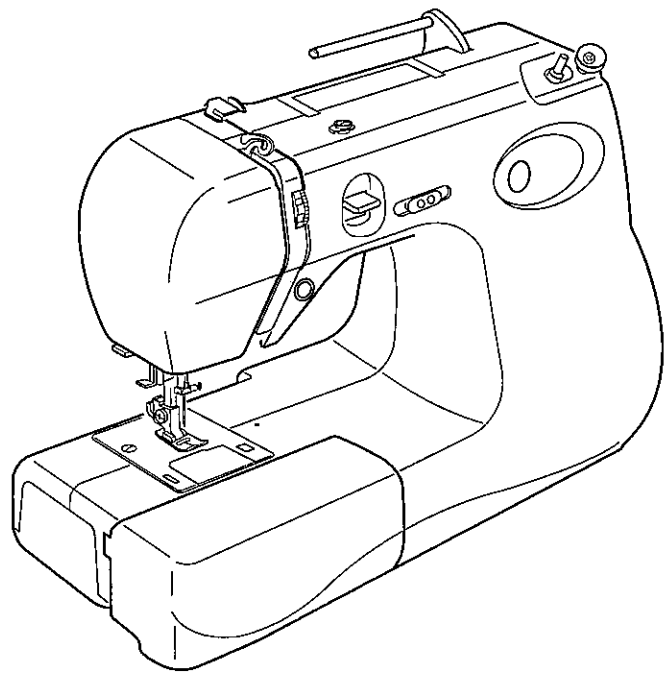


6077
1111

ご使用のしおり

《取扱説明書》



JANOME

安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 For use in Japan only.

危害・損害の程度を表わす表示

| | |
|---|---|
| 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 | 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。 |
|---|---|

本文中の図記号の意味

| | |
|--|--|
| | △記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意) |
| | ⊘記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止) |
| | ●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制) |

| | |
|---|--|
| 警告 感電・火災の恐れがあります。 | |
| 一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。 必ず実行 | 以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき |

| | |
|--|---|
| 注意 感電・火災・けがの原因となります。 | |
| お客様自身での分解はしないでください。 分解禁止 | お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される時は、特に安全に注意してください。 必ず実行 |
| ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。 接触禁止 | 以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき |
| めい中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。針が曲がり、針折れの原因になります。 禁止 | 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。 必ず実行 |
| 曲がった針はご使用にならないでください。 禁止 | 以下のことをするときには、電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・針、針板を交換するとき ・ランプを交換するとき (ランプが冷えてから行ってください。) ・ミシンのお手入れを行うとき |
| 付属の電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。 禁止 | 必ずプラグを抜く |
| フットコントローラー上に、物をのせないでください。 禁止 | 必ずプラグを抜く |
| 針及び押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、めいに合ったものをご使用ください。 必ず実行 針が押さえにあたり、けがの原因になります。 | 必ずプラグを抜く |
| ミシン操作時は、面板などのカバー類を開じてください。 必ず実行 | 必ずプラグを抜く |

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

目次

| | |
|-----------------------|----|
| 各部のなまえ | 2 |
| 標準付属品 | 2 |
| フリーアーム | 2 |
| 押さえの交換 | 2 |
| 電源のつなぎ方 | 3 |
| スタート・ストップボタン | 3 |
| 速さの調節 | 3 |
| 押さえ上げ | 3 |
| 模様を選び方 | 3 |
| 返しぬいレバー | 3 |
| 下糸の準備 | 4 |
| 上糸の準備 | 5 |
| 直線ぬい | 6 |
| ジグザグぬい | 6 |
| ジグザグぬいたち目かがり | 6 |
| トリコットぬいたち目かがり | 7 |
| シェルタック | 7 |
| 直線三重ぬい | 7 |
| くけぬい (まつりぬい) | 7 |
| ボタンホール | 8 |
| ししゅうぬい | 9 |
| 針の取り扱い | 10 |
| 糸調子の調節 | 10 |
| ミシンのお手入れ | 11 |
| ミシンの調子が悪いときの直し方 | 12 |

ここが便利になりました

- ゆっくりスタート ぬい始めは、いつもゆっくりで安心です。(3ページ)
- 返しぬいスタート 忙しかった返しぬいも、あわてる必要はありません。
返しぬいが終われば、自動的に止まります。(3ページ)
- 安全装置機能 かまなどの糸がらみなどで、ミシンに負荷がかかったとき、
自動停止機能がついて安心です。(12ページ)

おとり扱いについてのお願い

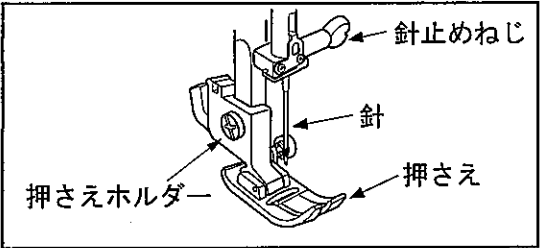
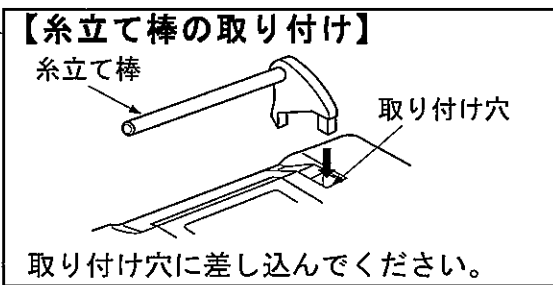
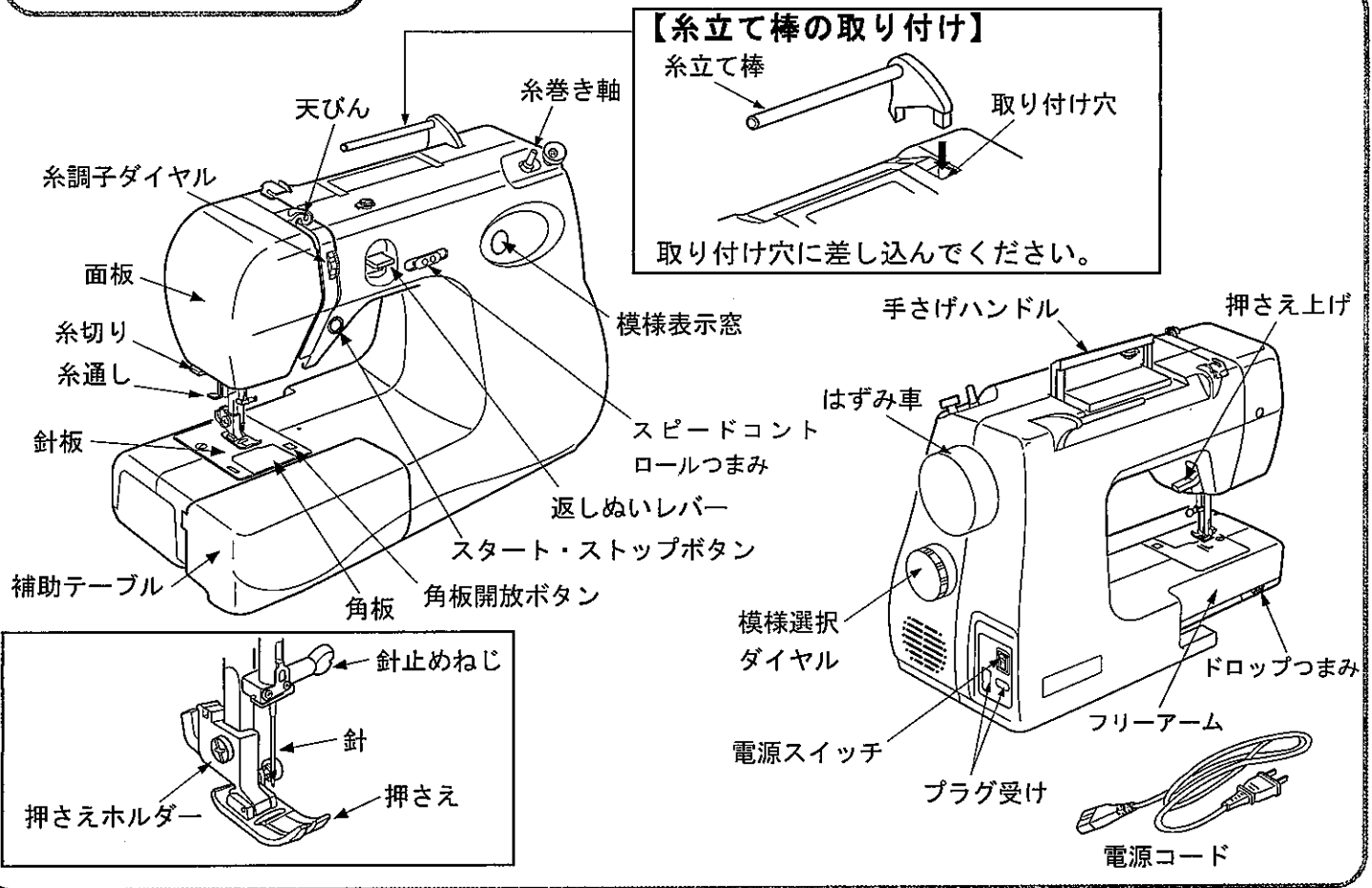
◇ご使用前に

- ① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使用前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

各部のなまえ

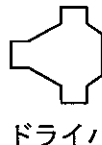


標準付属品

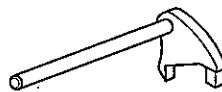
補助テーブルに収納されています。



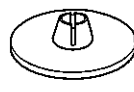
ボビン



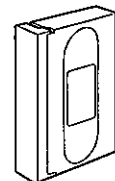
ドライバー



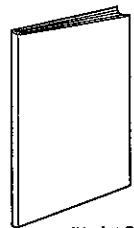
糸立て棒



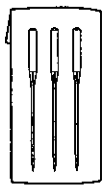
糸こま押さえ



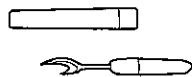
説明ビデオ



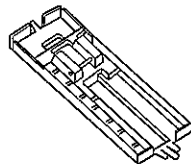
取扱説明書



針



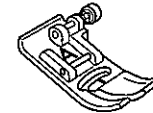
目ほどき



J: ボタンホール押さえ

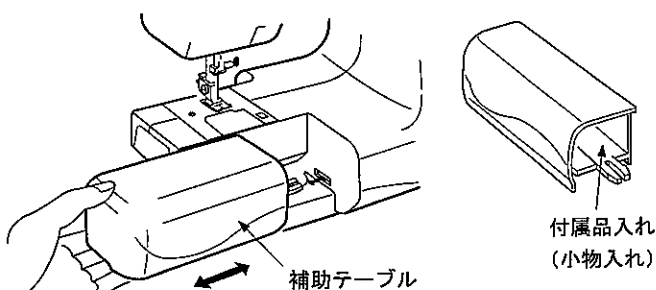


C: かがり押さえ



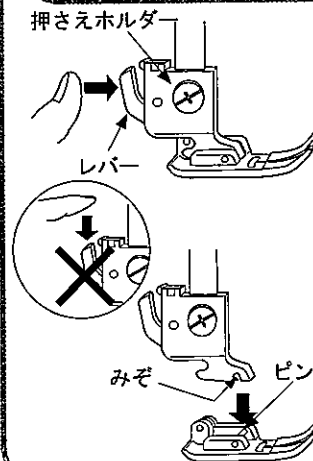
A: 基本押さえ
(基本押さえは、ミシン本体に付いています。)

フリーアーム



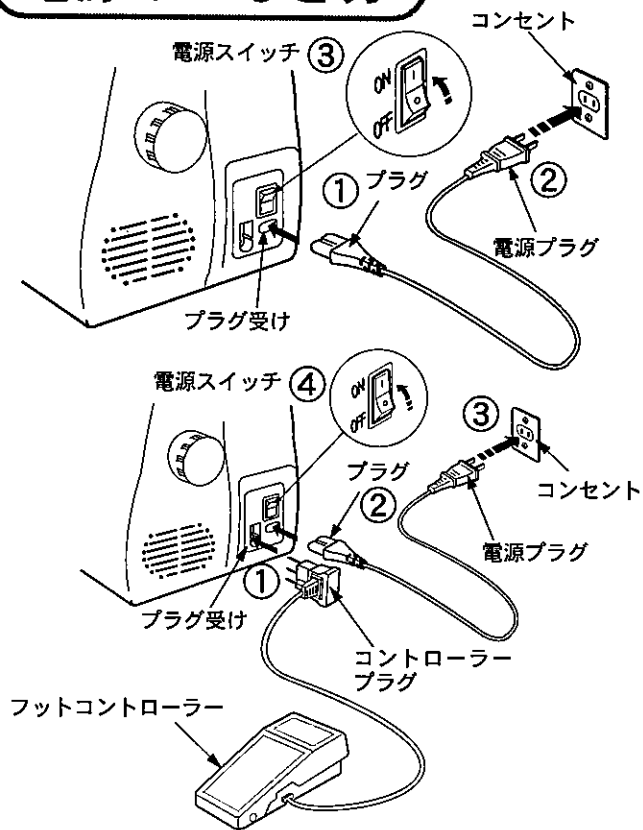
補助テーブルを横に引いて外すと、フリーアームになります。
補助テーブルは、小物入れとしても利用できます。

押さえの交換



- ① 押さえ上げをあげ、押さえホルダーのレバーを図のよううしる側から手前に押し、押さえを外します。
※ レバーを上から押すと故障の原因になります。
- ② 押さえのピンを押さえホルダーのみぞに合わせて、押さえ上げを静かにおろします。

電源のつなぎ方



⚠警告

- ・電源は一般家庭用交流電源（100V 50/60Hz）です。
- ・ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。
- ・フットコントローラーの上に物を乗せないでください。感電・火災の原因になります。

【スタート・ストップボタンを使用するとき】

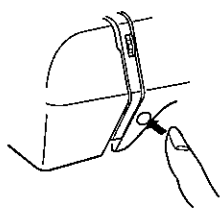
- ①電源スイッチを切って（OFF）から、プラグをプラグ受けに差し込みます。
- ②電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③電源スイッチを入れ（ON）ます。

【フットコントローラーを使用するとき】

（フットコントローラーは、モデルにより別売りになります。）

- ①電源スイッチを切って（OFF）から、コントローラープラグをコントローラープラグ受けに差し込みます。
 - ②プラグをプラグ受けに差し込みます。
 - ③電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - ④電源スイッチを入れ（ON）ます。
- ※フットコントローラーを接続すると、スタート・ストップボタンは使用できません。

スタート・ストップボタン



ボタンを押すと、ゆっくり動き始めてからスピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。もう一度ボタンを押すと、針は上位置で停止します。
※スタートおよびストップのときボタンを押し続けている間（手をはなすまで）は、低速で動きます。

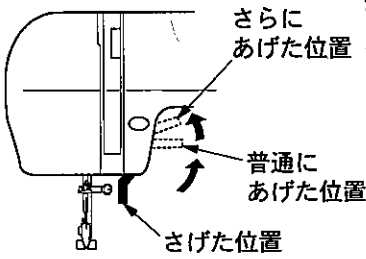
速さの調節



【スピードコントロールつまみ】

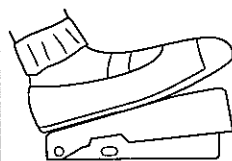
ぬい速さは自由にセットできますので、スピードコントロールつまみをお好みの速さにセットしてください。

押さえ上げ



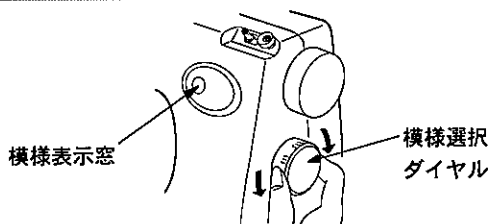
押さえ上げをさげると押さえがさがり、布地を押さえます。
※厚い布など布が入れにくいときには、普通にあげた位置よりさらにあげて入れます。

【フットコントローラー】



スピードコントロールつまみは「はやい」にセットしてください。
深くふむ.....速くなる
浅くふむ.....遅くなる
踏み込みをはなすと止まります。

模様を選び方



針をあげて模様選択ダイヤルをまわし、模様を選びます。
※針が布に刺さったままで模様選択ダイヤルをまわすと、針が曲がったり、折れたりする原因になります。

返しぬいレバー



【停止中の返しぬい】

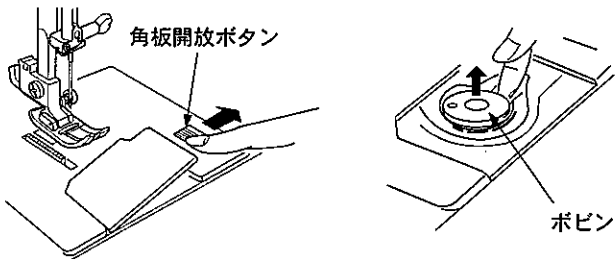
レバーを押すと、ゆっくり返しぬいを始めます。指をはなすと止まります。

【運転中の返しぬい】

ミシンを運転中レバーを押している間は返しぬいをし、指をはなすと前進ぬいにもどります。

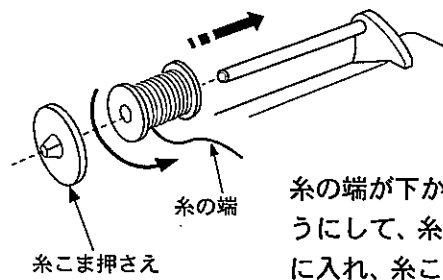
下糸の準備

★ボビンの取り出し



- ① 角板開放ボタンを右に寄せて、角板を外します。
- ② ボビンを取り出します。

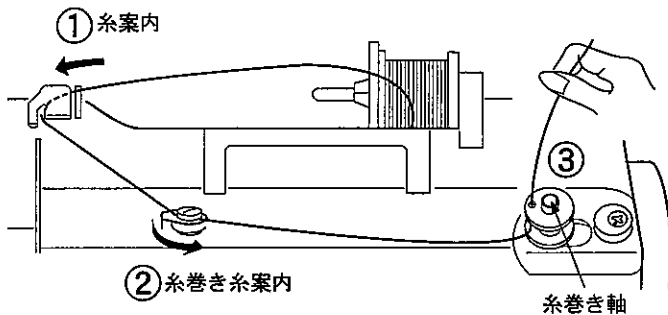
★糸こまのセット



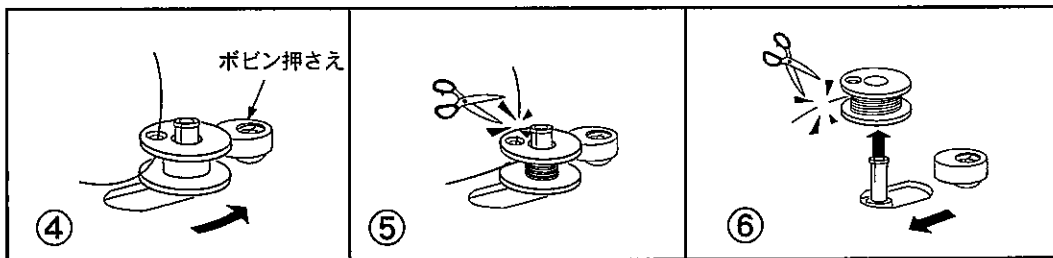
糸の端が下から手前になるようにして、糸こまを糸立て棒に入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

★ボビンに糸を巻く

※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。
 ※ボビンは、ジャノメ専用ボビンをご使用ください。

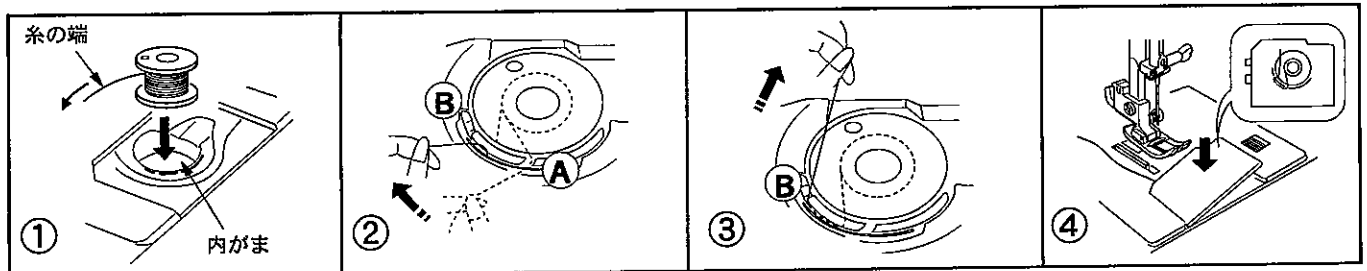


- ① 糸案内にかけます。
- ② 糸巻き糸案内にかけます。
- ③ ボビンの穴に内側から糸を通し糸巻き軸に差し込みます。



- ④ ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。
- ⑤ 糸の端をつまんだままミシンをスタートしてボビンに糸が2~3重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸を切ります。
- ⑥ 再びスタートして、巻き終わったらミシンを止めます。糸を切って糸巻き軸を戻し、ボビンを糸巻き軸より外します。

★ボビンのセット

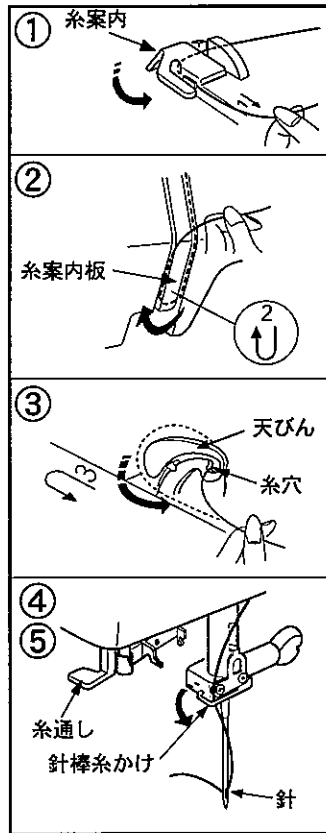
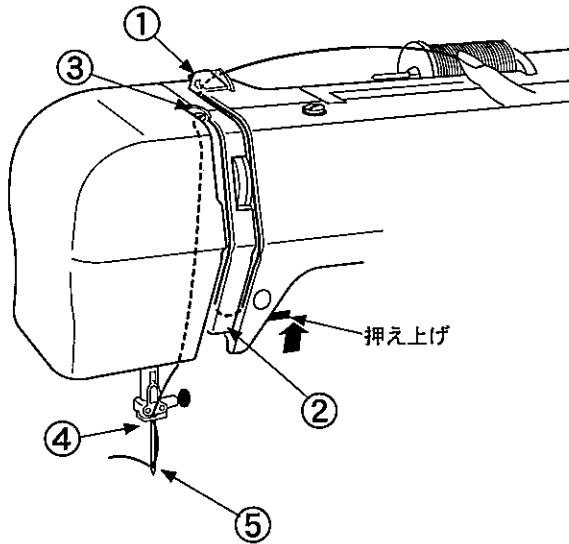


- ① 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。
- ② 糸の端を引きながら、手前のみぞ (A) にかけます。糸を引きながら左へ移動させ、みぞの外とバネの間を通して、左側のみぞ (B) のところに出します。
- ③ 糸を左側のみぞ (B) にかけるように、向こう側に出します。
- ④ 下糸は、10cmくらい引き出して、角板を左側から合わせて、付けます。

上糸の準備

★上糸のかけ方

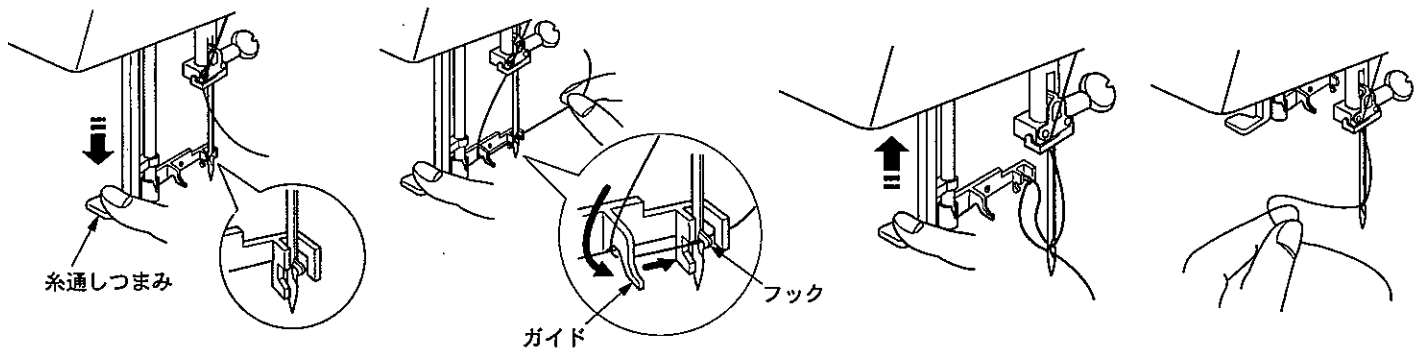
※必ず押さえ上げをあげてから上糸をかけます。
押さえ上げをあげないと、正しい上糸かけができません。



- ① 押さえ上げをあげます。糸を両手で持って糸案内の向こう側からかけます。
- ② 糸案内板にそっておろし、下をまわして左上に引きあげます。
- ③ はずみ車を手前にまわし、天びんを上部にします。天びんには、右から後ろをまわして糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。
- ④ 針棒糸かけに左からかけます。
- ⑤ 糸通しを使って針に糸を通します。

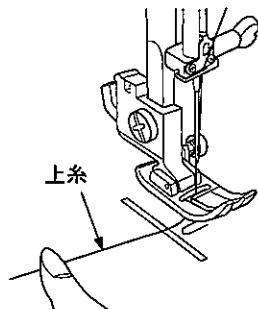
★糸通しの使い方

(針は、11番～16番が使えます。糸は、50番～90番が使えます。)

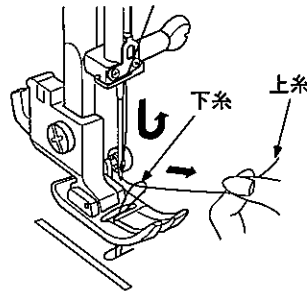


- ① 針を一番上にあげて、糸通しつまみを止まるまでいっぱい引き下げます。フックが針穴に入ります。
- ② 糸を左側からガイドとフックにかけておきます。糸がたるまないように、ななめ上に引っ張っておきます。
- ③ 糸を軽く持ち、糸通しつまみを静かに戻すと、糸の輪が引きあげられます。
- ④ 針穴から端を引き出します。

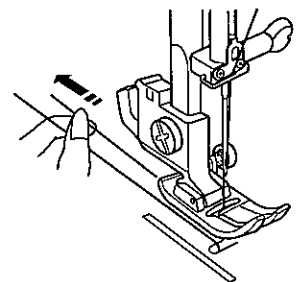
★下糸の引き上げ方



- ① 押さえをあげ、糸の端を指で押さえておきます。



- ② はずみ車を手で一回転させ、上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。



- ③ 上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて約10cmくらい出します。

直線ぬい

セットの目安

模様 

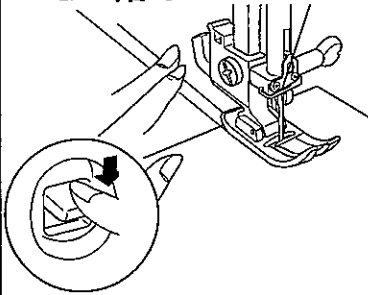
押さえ 

糸調子 2~6 

A: 基本押さえ

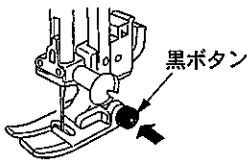
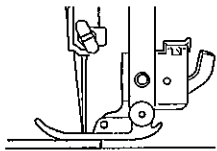
※模様は、ぬい目のあらかさが異なる3種類があります。

★ぬい始め



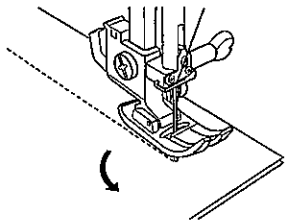
糸と布を押さえの下に入れ、はずみ車を手前にまわし、ぬい始めの位置に針を刺します。押さえをさげて、ぬい始めます。
※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいレバーを使います。

★厚手の布端のぬい始め



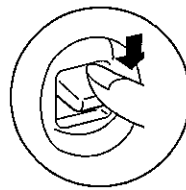
ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒ボタンを押し込みます。黒ボタンを押したままで押さえをさげます。黒ボタンから手をはなし、ぬい始めます。押さえが完全に布の上ののると、黒ボタンの押し込みは自動的に解除されます。

★ぬい方向の変更

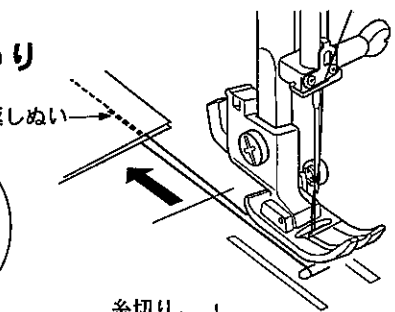


ミシンを止め、針を布に刺し、押さえをあげます。針を刺したまま、布をまわして方向をかえます。

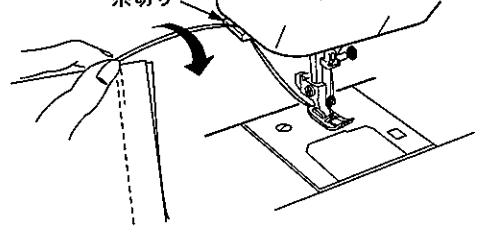
★ぬい終わり



返しぬい

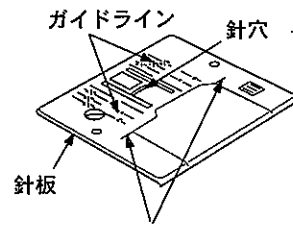


糸切り



返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。ミシンを止め、押さえをあげて、布を向こう側に引き出し、糸切りで糸を切ります。

★針板ガイドラインの利用



針板

ガイドライン

針穴

コーナリングガイド

ガイドライン・布端を合わせます。

| 数字 | 15 | 20 | 4/8 | 5/8 | 6/8 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 間かく (cm) | 1.5 | 2.0 | 1.3 | 1.6 | 1.9 |


コーナリングガイド

布端がガイドのところきたらミシンを止め、針を布に刺し、押さえをあげて布を回転させます。(針穴から1.6cmの位置です。)

ジグザグぬい

セットの目安

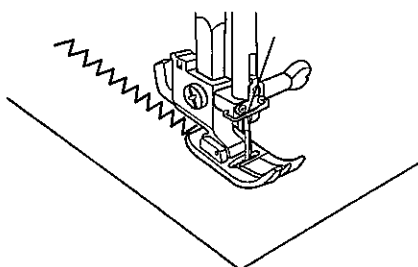
模様 

押さえ 

糸調子 2~5 

A: 基本押さえ

幅 (大) (大) (小)



伸縮性のある布 (ニット、ジャージー、トリコットなど) には、芯地を貼るとききれいにぬえます。

※模様は、3種類あります。

ジグザグぬいたち目かがり

セットの目安

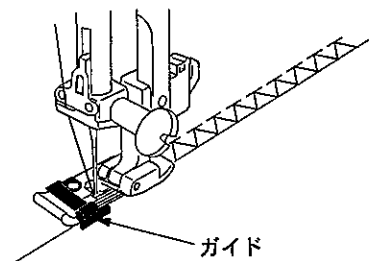
模様 

または 

糸調子 3~6 

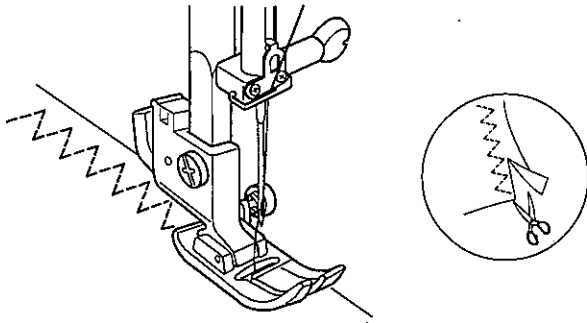
C: かがり押さえ

幅 (大)



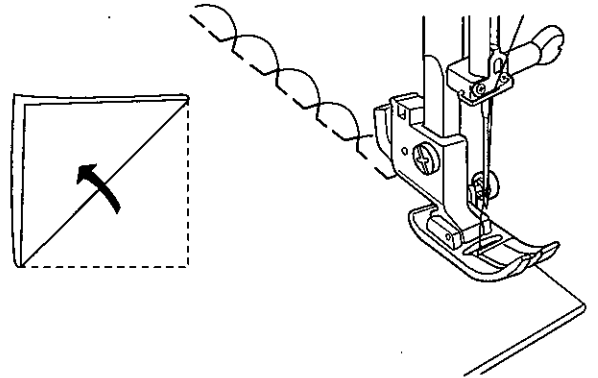
模様はジグザグ幅 (大) を使用します。布端のほつれ止めとして広く利用します。布端をガイドにあててぬいます。

トリコットぬいたち目かがり



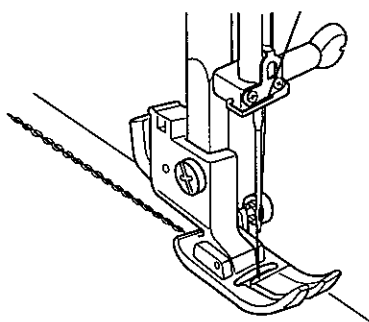
ほつれやすい布や、伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに利用します。ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

シェルタック



- ① 布をバイヤスに二つ折りにします。
- ② 針が右にきたとき、布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。

直線三重ぬい



伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。
※ぬい目が前後しますので、曲がらないように注意してください。

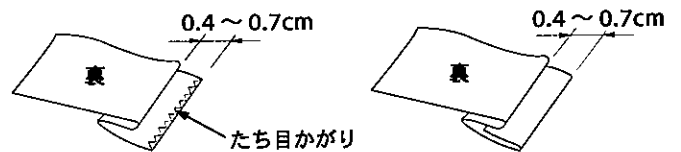
くけぬい(まつりぬい)



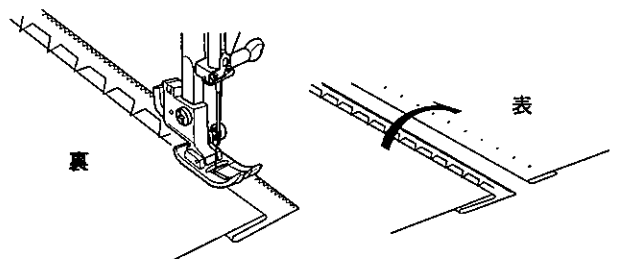
【布の折り方】

(厚い布の場合)

(うすい布、普通の布の場合)

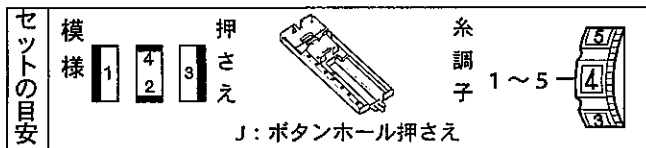


【ぬい】

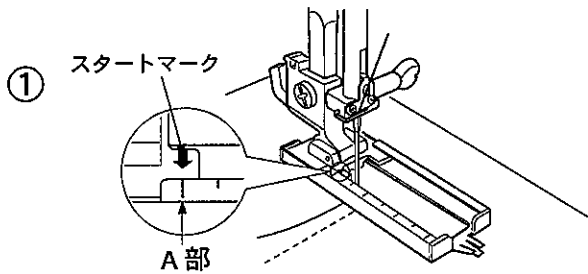


- ① 針がいちばん左にきたとき、
 - ② ぬい終わったら布を
- わずかに折り山を刺すように 広げます。
布をおき押さえをさげてスタートします。
スピードコントロールつまみは「おそい」にします。

ボタンホール

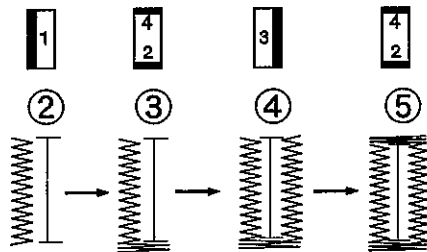


※ぬうものと同じ布で試しぬいをしてください。
 ※伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を貼ってください。



① 模様 **1** を選びます。上糸を押さえの穴から通して下糸と一緒に横にそろえておきます。押さえを手前に引きスタートマークをA部に合わせます。

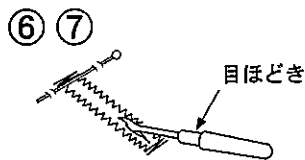
② ぬい始めの位置に針をさし、押さえをおろしてミシンをスタートし必要な長さまでぬってミシンを止めます。



③ はずみ車をまわして針をあげ、模様 **4** を選びます。かんぬきを5針くらいぬいミシンを止めます。

④ はずみ車をまわして針をあげ、模様 **3** を選びます。左側と同じくらいぬって、ミシンを止めます。

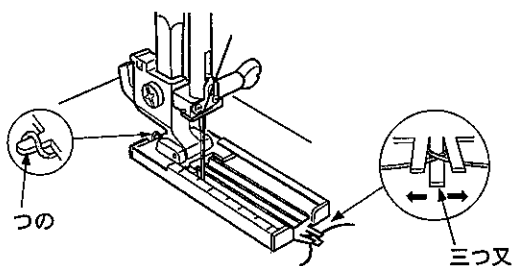
⑤ はずみ車をまわして針をあげ、模様 **4** を選びます。かんぬきを5針くらいぬいます。



⑥ 押さえをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10cmくらい残して切ります。上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。

⑦ かんぬきの内側にまち針を刺し、目ほどきでかがった糸を切らないように中央部分を切りひらきます。

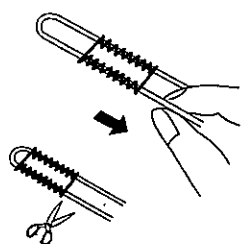
★芯入りボタンホール



① 芯糸の輪を押さえの後ろ側にあるつのにかけ、押さえの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ又にはさみます。


② ボタンホール手順と同じようにぬいます。

③ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

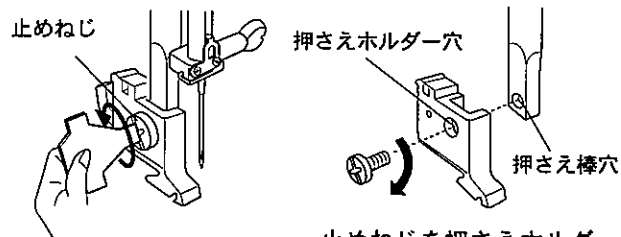


ししゅうぬい

| | | | | |
|--------------------|--------|--------------------|--------|-------|
| セッ トの 目 安 | 模 様 | 押 さ え | 糸 調 | 子 1~5 |
| | | ※押さえと押さえホルダーを外します。 | 子 1~5 | |



【押さえホルダーの外し方、付け方】



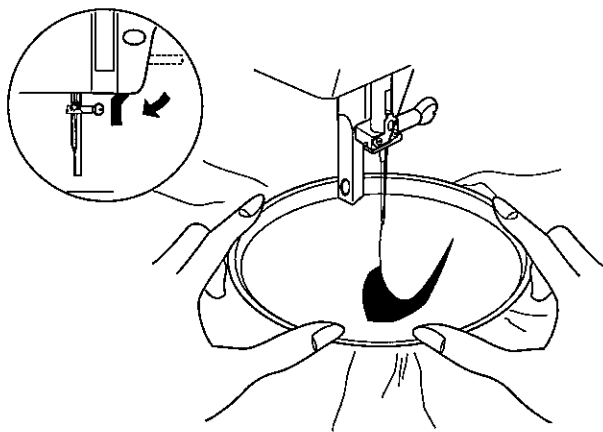
止めねじ

押さえホルダー穴

押さえ棒穴

止めねじを押さえホルダーと押さえ棒穴に合わせ、右にまわして、取り付けます。

止めねじを左にまわして外します。



- ※ 糸調子は、布の裏側に上糸が少し出るくらいにゆるくします。
- ※ 模様は、あらかじめ布の上にえんぴつかチョークで印をつけてください。
- ※ ししゅう枠は標準付属品には含まれておりません。

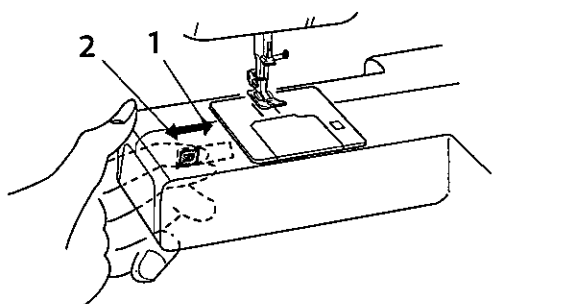
⚠ 注意

動いている針に手を近づけないでください。けがの原因になります。

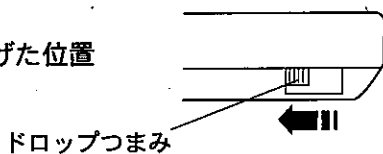
【ぬい方】

- ① 送り歯をさげます。
 - ② 布をししゅう枠にピンと張ります。
 - ③ 上糸の端を左手でつまみ、針をぬい始めの位置にさし、押さえ上げをおろします。
 - ④ はずみ車を手前にまわして針をあげ、上糸を引いて、下糸を布の上に引き出します。
 - ⑤ 左手の指先で上糸と下糸を押えて止めぬいをし、余分な糸を切ります。
 - ⑥ ししゅう枠を手で下に押しつけるようにし、ゆっくりぬいながら、針が布から抜けている間にししゅう枠を動かし、模様をぬいます。
- ※ ぬいが終わったら、送り歯をあげておきます。

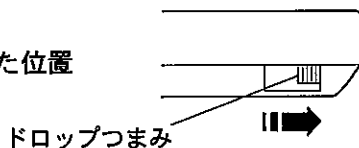
★送り歯のさげ方



1 送り歯をさげた位置



2 送り歯をあげた位置



ドロップつまみを動かします。

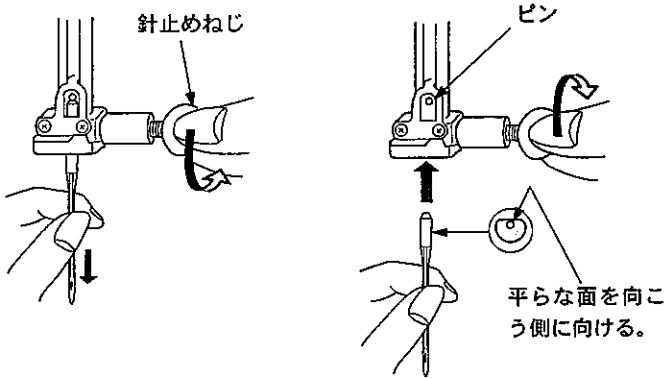
※ぬいが終わったら、ドロップつまみをあげる位置にもどし、手ではずみ車を手前にまわして、送り歯があがることを確認します。

針の取り扱い

★針の取りかえ方

△注意

針の取りかえは、必ず電源スイッチを切って電源プラグを抜いてから行ってください。けがの原因になります。



- ① 針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。
- ② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかたくしめます。

★布に適した糸や針を選ぶ目安

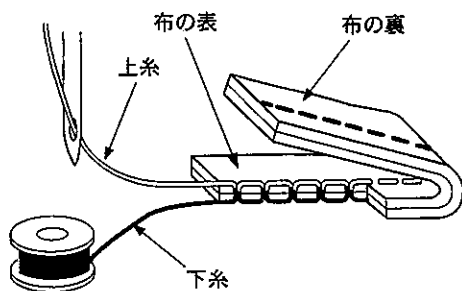
| 布 | 糸 | 針 |
|--|--|---------|
| うすい布 ローン ジョーゼット トリコット ウール 化繊布 | ポリエステル90番 | 9番～11番 |
| 普通の布 普通木綿 化繊布 ジャージー 一般ウール | 絹糸50番 綿糸60番 ポリエステル、ナイロン 50番～90番 | 11番～14番 |
| | 綿糸50番 | 14番 |
| 厚い布 デニム コート地 キルティング | 絹糸50番 綿糸40番～50番 ポリエステル 40番～50番 | 14番～16番 |
| | ポリエステル30番 綿糸30番 | 16番 |

※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。
 ※ 原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。
 ※ 伸縮性のある布地（ジャージー、トリコット）や目とびしやうすい布地などには、ジャンメブルー針（別売）を使用すると防止効果があります。
 （市販オルガンS P針も同様の効果があります。）

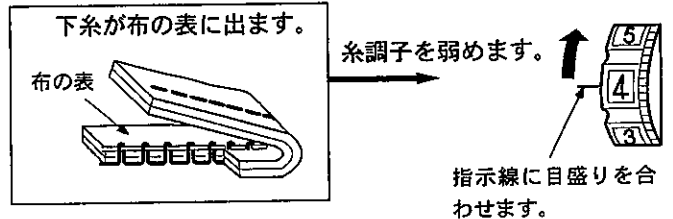
糸調子の調節

糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれないときには、糸調子ダイヤルをまわして、上糸と下糸のまじわる位置を調節します。

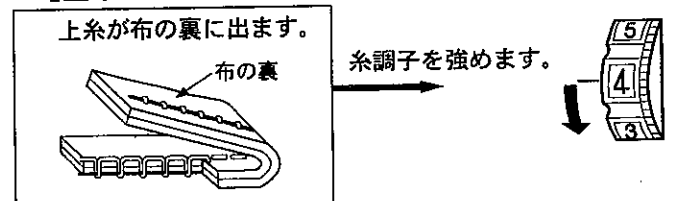
【正しい糸調子】・・・上糸と下糸がほぼ中央でまじわります。



【上糸が強い場合】



【上糸が弱い場合】

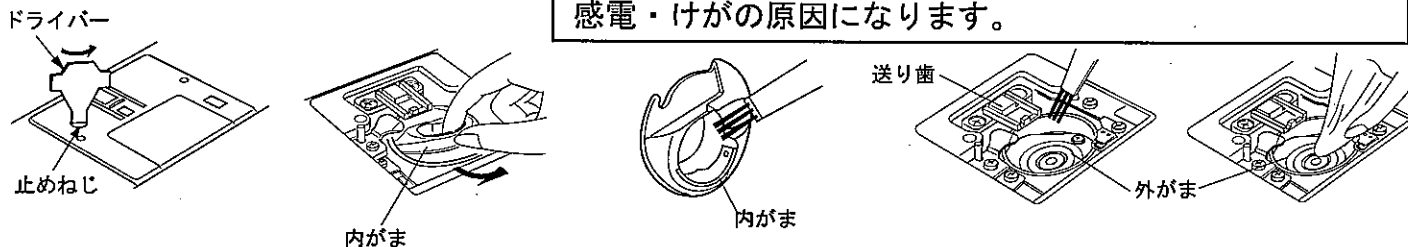


ミシンのお手入れ

△注意

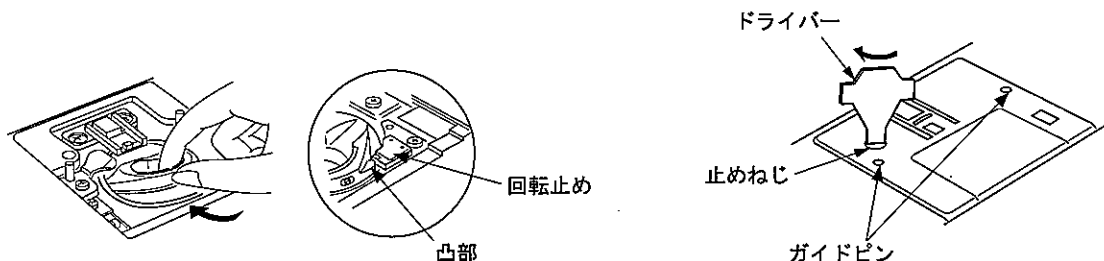
お手入れのときは、必ず電源スイッチを切って電源プラグを抜いてから行ってください。
また、説明されている場所以外は分解しないでください。
感電・けがの原因になります。

★かまと送り歯の掃除



- ① 針と押さえを外します。針板止めねじを外して、針板を外します。
- ② ポピンを取り出し、内がまの手前を上へ引きながら外します。
- ③ 内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。
- ④ ブラシや掃除機で外がまと送り歯、およびその周辺の糸くずをとり、外がまを布切れで軽くふき掃除します。

★内がまと針板の組み付け

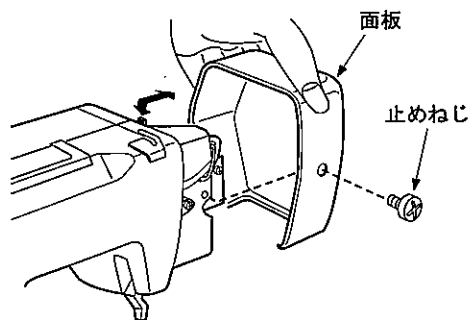


- ① 内がまを差し込みます。
- ② 内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
- ③ ポピンを入れ、2箇所針板ガイドピンに針板ガイドの穴を合わせ、止めねじをしめます。

★ランプの交換

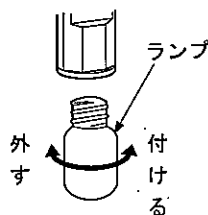
△注意

ランプの交換は、必ず電源スイッチを切って電源プラグを抜いてから行ってください。
また、ランプが冷えてから交換してください。
感電・やけどの原因になります。



【取り外し】

- ① 止めねじを外して、面板を外します。
- ② ランプを左にまわして、外します。



【取り付け】

- ① ランプを右にまわして、取り付けます。
- ② 止めねじで面板を取り付けます。

ミシンの調子が悪いときの直し方

| 調子が悪い場合 | その原因 | 直し方 |
|------------|---|---|
| 上糸が切れる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所からみついている。 2 上糸調子が強すぎる。 3 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4 針の付け方がまちがっている。 5 ぬい始めに、上糸と下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6 針にくらべ糸が太すぎる。 | <p>上糸を正しくかけ直す。</p> <p>糸調子ダイヤルを弱める。 針を交換する。 針を正しくつける。 上糸と下糸をそろえる。 適切な針や糸を選ぶ。</p> |
| 下糸が切れる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 下糸の通し方が、まちがっている。 2 内がまの中に、ごみがたまっている。 3 ポビンにキズがあり、回転がなめらかでない。 | <p>下糸を正しく通し直す。 内がまを掃除する。 ポビンを交換する。</p> |
| 針がおれる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3 針を布にさしたままで、模様選択ダイヤルをまわした。 4 布に対して、針が細すぎる。 | <p>針を正しくつけるか針を交換する。 針止めねじをしっかりとめる。 針をあげてからダイヤルをまわす。 針を交換する。</p> |
| ぬい目がとぶ。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2 布に対して、針と糸が合っていない。 3 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャンメブルー針（市販SP針）を使っていない。 4 上糸のかけ方がまちがっている。 | <p>針を交換する。 適切な針や糸を選ぶ。 ブルー針を使う。（別売）</p> <p>上糸を正しくかけ直す。</p> |
| ぬい目がしわになる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 上糸調子が合っていない。 2 上糸と下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3 布に対して、針と糸が合っていない。 | <p>糸調子ダイヤルを調整する。 糸を正しくかけ直す。</p> <p>適切な針や糸を選ぶ。</p> |
| ミシンがまわらない。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 電源のつなぎ方がまちがっている。 2 かまや天びんに、糸やごみが巻き込まれている。（このとき、ミシンの安全装置がはたらいて、モータを自動停止する。） | <p>正しく差し込む。 かまや天びんの掃除をする。</p> |
| 布を送らない。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 送り歯がさがっている。 | <p>送り歯をあげる。</p> |

蛇の目マシン工業株式会社

〒104-8311 東京都中央区京橋3-1-1

662-800-008